

# 米国原子力潜水艦に沈没させられた「えひめ丸」事故の原因究明と船体の早期引き揚げ等に関する要望書

2月10日(日本時間)ハワイ・オアフ島沖の南約18キロの海上で、愛媛県立宇和島水産高等学校の漁業実習船「えひめ丸」が米海軍の原子力潜水艦「グリーンビル」の急浮上により、衝突し、約600メートルの海底に沈没しました。

この事故により、えひめ丸に乗船していた生徒や教師など35人のうち、26人は救出されたものの、未だに9人が行方不明となっています。

この事故は、民間船舶の航行も多い海域で、しかも、原子力潜水艦に民間人を搭乗させ、十分な安全確認もせず、緊急浮上の体験デモンストラーションを行ったために起きたものとの報道がされています。

しかし、なぜこのような海域で、民間人を乗艦させ危険な緊急浮上訓練を行ったのか、安全確認は十分に行われたのか。なぜ、衝突直後に原潜は救助活動を行わなかったのかなど、未だ多くの疑問が解明されないままとなっています。

さらに、事故直後の日本政府の対応について、国民から非難の声があがっており、十分な情報収集や適切な意思決定がなされないなど、危機管理体制が機能していたとはとても言いがたい状況であります。

よって千代田区議会は、政府に対し、官邸の危機管理体制の再構築と今後二度とこのような事故を繰り返すことがないように、下記の事項について、米国政府に申し入れることを強く求めるものであります。

## 記

- 1 行方不明となっている9人の搜索を今後も継続し、全力を尽くすこと
- 2 早期に徹底した事故の原因を究明し、その内容を全て公表すること
- 3 海底に横たわる「えひめ丸」の船体の引き揚げを一刻も早く行うこと

- 4 事故に関する情報は、逐次公開すること
- 5 原子力潜水艦の訓練のあり方を見直し、再発の防止策を講じること

平成13年2月22日

千代田区議会議長 石渡 伸幸

内閣総理大臣 宛